

第 11 回薬学教育協議会・医薬品情報学教科担当教員会議 議事録

【日 時】 令和 4 年 3 月 9 日（水） 15：00～16：00

【会 場】 Zoom 開催（ホスト：北海道医療大学薬学部）

【開催実行委員】 小林道也（委員長、北海道医療大学）、大津史子（副委員長、名城大学）

【出席者】 全国 76 大学薬学部から 81 名の教員が参加した。（別紙 1）

1. 委員長である北海道医療大学薬学部 小林道也より開会のご挨拶があった。
2. 小林委員長より、令和 6 年度に施行予定のコアカリキュラム改訂の進捗状況や内容について、全国薬学部長会議やコアカリ改訂に関連する検討会・委員会などで公開されている情報についてスライドにまとめ、現行のコアカリとの相違点、現在までの状況と今後のスケジュール等について解説があった。
また、改訂コアカリの大項目 D の作成に関わった名城大学薬学部の大津史子先生、コアカリ改訂の専門研究委員会のメンバーである大阪医科薬科大学薬学部の角山香織先生より、追加コメントがあった。
3. 小林委員長より、第 12 回薬学教育協議会・医薬品情報学教科担当教員会議についても、コロナ禍の状況でどのような開催形式になるかはわからないが、小林委員長を中心に企画して開催予定であると説明があった。また、年 1 回の集会（対面形式でなく、Zoom の可能性もある）だけでなく、メール等を利用してコアカリ改訂や各大学での教育方法などについての情報交換を、これまで以上に活発に行いたいとの説明があり、会議がすべて終了した。

（文責：北海道医療大学 小林道也）